

学校法人ISI学園 専門学校長野ビジネス外語カレッジ

2023年度 シラバス

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネス法務 I		（ NGB22A ）
講義名（コード）	ビジネス法務 I		（ NGB22AX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	石田 浩也	時間数	30
成績評価教員	石田 浩也	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	日常生活における法務・ビジネスの場面で想定される法律の基礎知識を習得する
全体の内容と概要	日常生活における法務・ビジネスの場面で想定される法律諸問題への理解と対応ができる
授業時間外の学修	学生仲間、アルバイト先の仲間とのコミュニケーションを通して理解度を深める
履修上の注意事項等	授業での言語は原則日本語で実施するため、ヒヤリングできる程度の日本語語学力が必要

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション	自己紹介 ビジネス法務を学ぶ目的は何かを理解する
2	独特な言い回しがある法律用語について理解できる	法律用語の基礎知識を学ぶ
3	法律の分類について理解できる	実体法と手続法 公法と私法 一般法と特別法 を学ぶ
4	日本の裁判について理解できる	裁判の仕組みや判例を学ぶ
5	法律の全体像をつかむコツが理解できる	法律や条文の読み方を学び六法を理解する
6	民法について理解することができる	民法Ⅰ 総則について学ぶ
7	民法について理解することができる	民法Ⅱ 具体例を交えながら権利について学ぶ
8	民法について理解することができる	民法Ⅲ 物権 具体例を交えながら留置権 質権 抵当権について学ぶ
9	民法について理解することができる	民法Ⅳ 具体例を交えながら債権について学ぶ①
10	民法について理解することができる	民法Ⅴ 具体例を交えながら債権について学ぶ②
11	民法について理解することができる	民法Ⅵ 具体例を交えながら債権について学ぶ③
12	民法について理解することができる	民法Ⅶ 具体例を交えながら親族について学ぶ
13	民法について理解することができる	民法Ⅷ 具体例を交えながら相続について学ぶ
14	テスト	テスト
15	出題問題の解説	テストフィードバック 出題問題の解説

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	パワーポイント等による資料提供
参考文献・資料等	行政書士六法 法律を読む技術・学ぶ技術 民法のツボとコツがゼッタイにわかる本
備考	なし